

議会だより つしま

No.4

2019

5月

令和元年



私たちはこの笑顔を守ります

「消防フェスタ2019」



3月定例会あらまし

3月定例会は、2月26日から3月18日までの21日間の会期で開かれました。今定例会では、平成31年度一般会計予算等30件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり認定、承認、可決となりました。

会派代表質問は1会派、一般質問では、8人が登壇し、活発な議論が展開されました。

◎主な議案

- 平成30年度対馬市一般会計補正予算(第7号)についてなど補正予算案4件
- 平成31年度対馬市一般会計予算についてなど新年度予算案8件
- 対馬市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例についてなど条例改正案4件
- 対馬市選挙公報の発行に関する条例についてなど新規条例案3件
- 対馬市教育長の任命についてなど同意案8件
- その他議決案3件

委員会審査報告

議会において、提出された議案等を慎重に審査するため、所管の常任委員会に付託することができま。各委員会は、付託された議案等を、詳しく審議し、議案等の可否を採決し、委員会としての意思を決定します。委員長は、審査報告書を議長に提出し、本会議において報告をします。今定例会においては次のとおり審査報告がされました。

■総務文教常任委員会

委員長 春田 新一

◎付託された案件(6件)

- ①平成30年度対馬市一般会計補正予算(第7号)
- ②平成31年度対馬市旅客定期航路事業特別会計予算
- ③対馬市選挙公報の発行に関する条例
- ④対馬市奨学資金基金条例
- ⑤対馬市教育支援センター設置条例
- ⑥新市建設計画の変更について

◎審査内容

○対馬市選挙公報の発行に関する条例は、対馬市議会議員選挙及び対馬市長選挙において選挙公報を発行し、有権者が候補者情報を得る機会を拡充を図るため、制定するものです。

○対馬市奨学資金基金条例は、「対馬市酒井豊育英資金貸付基金」を廃止し、同基金の趣旨を引き継ぐとともに、奨学金貸与対象の拡大、5年以上の定住など一定条件を満たした場合の返還免除制度を新たに加え、制定するものです。

○対馬市教育支援センター設置条例は、長期間学校に登校できない児童生徒等に対し、従来は「フリースペースみちしるべ」において適切な相談や指導、援助をいただいていたが、今後は、対馬市が教育支援センターを設置し運営するため、制定するものです。

■厚生常任委員会

委員長 齋藤 久光

◎付託された案件(5件)

- ①平成30年度対馬市一般会計補正予算(第7号)
- ②平成31年度対馬市診療所特別会計予算
- ③平成31年度対馬市国民健康保険特別会計予算
- ④平成31年度対馬市後期高齢者医療特別会計予算
- ⑤平成31年度対馬市介護保険特別会計予算

◎審議内容

○市立診療所事業を円滑に運営するための予算を計上した対馬市診療所特別会計等所管する4特別会計予算について、審査を行いました。

■産業建設常任委員会

委員長 大部 初幸

◎付託された案件(3件)

- ①平成30年度対馬市一般会計補正予算(第7号)
- ②平成31年度対馬市集落排水処理施設特別会計予算
- ③平成31年度対馬市水道事業会計予算

◎審議内容

○集落排水処理施設事業の運営に係る対馬市集落排水処理施設特別会計予算及び水道事業運営に係る対馬市水道事業特別会計予算について、審査を行いました。

6月定例会のお知らせ

第2回定例会は、6月18日(火)に開催を予定しています。

※日程は、6月14日に開催される議会運営委員会で決定された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

■予算審査特別委員会

委員長 初村 久藏

平成31年2月28日から3月5日までのうちの4日間、予算審査特別委員会を開催し、平成31年度一般会計予算について審査を行いました。また、5日の最終日においては、市長の出席を求め、総括質疑を行い、対馬市の方向性等について議論が交わされました。

平成31年度の一般会計歳入歳出予算の総額は、308億5,900万円で、前年度と比較しますと2・9%の減であります。

新たな取組として、対馬市奨学資金基金の設置、対馬市教育支援センターみちしるべの設置、シルバー人材センターの活動拠点の拡大等があります。

一般会計予算については、慎重に審査し、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しましたが、市長部局におかれましては、本委員会での指摘事項、意見、要望等を十分に考慮され、限られた財源の中ではありますが、市長の施政方針説明にありました「一歩前を見た投資」に対して、大きな成果が見えるよう、対馬ならではの地域の活性化を図り、市民の所得向上と健康・福祉の充実のため、速やかに予算執行に当たられるよう強く要望します。

会派代表質問

会派代表質問とは、会派を代表して行う質問のことです。対馬市議会では、3月・12月の定例会において行っています。質問時間は、会派の所属議員数で算定し、90分を限度としています。その時間内で関連質問も認められています。
今回は1会派が質問を行いました。

新政会

春田新一議員・長郷泰二議員

◆対馬の観光振興策について

(春田) ①観光案内板、文化・歴史に関する案内板の総合的な見直しについて。昨年は韓国人観光客が41万人の過去最多だった。そのような中、国内外の旅行者が島内観光地を快適にめぐっていたためにも案内板の計画的な整備を行い観光客へのイメージ向上を図っていかねければならないと思います。市長の見解を伺います。
②観光地の現状と今後の整備について。観光客が快適に観光地をめぐっていただくためには道路の整備はもちろんのこと、WiFiの整備、観光地の公衆トイレの洋式化、駐車場の整備など市内の観光基盤整備がまだまだだと思います。観光客の受け入れ環境が整っていない現状で早急な整備が必要と考えます。新たな観光の魅力を創出し快適な観光基盤を整備することで国内の来島者が増加し、地域経済の活性化につなげていかなければと考えます。市長の見解を求めます。

(市長) ①より良い方向で進めていきたい。見やすい案内板・誘導板整備に向け、教育委員会部局との協議・調整を図りつつ、優先順の高い個所から順次取り組んでいきたい。

(教育長) ①文化財の活用、観光も含め関係部局と連携を取っていく。

(市長) ②観光客の皆様の動向や要望等を踏まえ、安心・安全に、また、快適な旅行を提供できるような心がけ、基盤整備を行っていきたい。

◆国有財産の空き家と土地の有効利用について

(春田) 上対馬町古里区内に福岡財務支局管理の住宅が二か所あり、一戸建て木造住宅6棟、鉄筋コンクリート集合住宅10棟の27世帯が空き家となつて13年ぐらいになります。今ならまだ活用できると思われれます。国有財産の有効活用について市長の考えをお伺いします。

(市長) 国有財産の利活用については国の利活用の判断が出ていない状況ですが、古里地区の要望などを踏まえ、検討していきたい。

◆国定公園の見直しについて

(長郷) 壱岐・対馬国定公園の指定を受け、50年が経過し木々も成長しているため、眺望が悪く観光地としての利用価値や玄海つつじをはじめとした植物の生育にも影響がはじめています。一方、開発には規制があり杉、松の施業計画、木々の販売もできないため山林所有者の方は換金ができず困惑されています。今後の国定公園の在り方について考えをお尋ねします。

(市長) 国定公園内は基本的には開発規制があり個人所有の財産でも自由に扱うことはできません。今後、伐採等、必要に応じて県と協議を行い、対策を講じていきたい。

一般質問 ここが聞きたい

3月定例会一般質問 8人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは

議員が議長の許可を得て、市長等に対し、市の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問を質し、報告や説明を求めるものです。

一般質問を行う場合は、通告書に要旨を記入し、事前に議長に提出します。

一般質問の時間は質問と答弁を合わせて50分以内としています。



小島 徳重議員

働きかけが必要。③島内での発生抑制対策も充実すべき。

◆**海岸漂着物について**
(小島) ①発泡スチロール再資源化について、②発生抑制について、韓国以外の国(特に中国)及び国際機関にも

(市長) ①平成23年度から油化装置を稼働させ、処分費削減のため、中長期的にはプラスチックの減容化・ペレット化し、燃料としての活用を検討する。②中国からの漂着ごみが増加している。中国及び国際機関にも県を通じて働きかけたい。③日韓海岸清掃フェスタ等を継続し、島内ボランティアの協力を得たい。トランクミュージアム対馬版による小中学校での海ごみ問題に関する環境教育を実施した。

(小島) 中国への具体的な働きかけは。

(市長) 韓国だけではなく、島内・国内ボランティアを通して働きかけたい。

◆**厳原小学校の通学路の安全確保について**

(小島) 日吉方面の通学路で学校敷地内に入る箇所は危険である。早急な対応を。

(教育長) 各学校等の職員は学校敷地内では歩行者優先で徐行運転するように校長に再指導した。事故防止に万全を期す。

(小島) 安全上の指導だけでなく、ガードパイプ延長や標識等の改善・工夫等が必要では。

(教育長) ガードパイプの延長する方針を決定した。ロータリー、標識等は現状を踏まえ、検討する。

◆**養殖マグロのへい死後の処理について**

(小島) へい死マグロの処理の実態は。

(市長) 中部中継所に仮埋設し、その後クリーンセンターで計画的に適切に処理している。

(小島) 埋設処分はできないのか。

(市長) 地区の同意と知事許可を受けた施設内でのみ埋設できる。



伊原 徹議員

◆**比田勝港及び厳原港及び対馬空港へのライブカメラの設置による可視化について**

(伊原) 海や空の玄関口の利用者へ、運行情報や駐車場情報など、利便性を供することを目的に、ライブカメラの設置のお考えは。また、ライブカメラ情報は、CATV放送により常時放映できるよう新たな取組はできないか。

(市長) 比田勝港、厳原港及び対馬空港には監視カメラを設置しており、ライブカメラを設置となると、プライバシー保護の観点からも配慮が必要である。なお、市内の重要港湾にカメラを設置し、CATVで静止画を提供している。

◆**本市における国・県道及び市道の未改良区間の取組と今後の計画及び事業採択に向けた戦略の確立について**

(伊原) 国県道及び市道の未改良区間の事業採択への効果的な戦略については、事業採択には交通量や事業費、道路維持管理費など、費用対効果が求められるが、効果を高めるための戦略の確立と振興計画について

(市長) 国県道の改良事業の採択には、費用対効果の算出が必須となっている。道路インフラ整備の振興計画としては、起債事業や単独事業などを活用し、費用対効果の影響に左右されることなく、優先度に応じた計画を行っている。

◆**厳原港国内ターミナルのバリアフリー化について**

(伊原) 身障者専用の屋根付き駐車場の確保と、自家用車での送迎に、ご家族が安心して乗降できるように「駐車許可証」などの発行はできないか。

(市長) 身障者専用の駐車場は2台分確保しているが、車椅子などの表示が消えていることから、一般車両が駐車している。カラーコーンを設置するなど早急に対応したい。なお、歩行困難な方などが容易に利用できるよう「長崎県パーキング・パーミット制度」を活用できないか、関係部局で協議、検討したい。



大部 初幸議員

◆大船越漁港の沖防波堤の補修について

(大部) 平成16年の台風により大船越橋付近の民家及び沖防波堤に大きな被害があり、以

後、台風による被害を受けるようになりました。人命と財産を守るため沖防波堤の補修をお願いしたい。

(市長) 被災した民家を保護するため、B護岸のかさ上げを長さ185メートルにわたり実施し、民家及び航路の強風対策として、A防波堤、M護岸に長さ110メートルの防風柵を設置するなどの対策を行ってきました。沖防波堤の改修につきましては、大船越住民や漁民の皆様の生活や漁業の安全性向上に重要なことは十分認識しております。今後、新しい事業も勘案しながら引き続き努力を行ってまいります。

◆公衆トイレの改善と管理体制について

(大部) 観光客は年を追うことに増し、昨年は40万人を超えたとの報道がされていました。そのような状況の中、昔ながらの和式の汲み取り式の公衆トイレがあり、管理も行き届いていない状況であります。簡易水洗トイレか水洗トイレに改修、又は新たに増設できないのか。

(市長) 市内には、観光地や公園施設等に72箇所の公衆トイレがあります。観光客を迎え入れ、気持ちよく利用できる公衆トイレの整備に向け、まずは、トイレの洋式化を図ることとしており、優先順位を決め整備を実施していく所存です。また、かねてより要望があつております東側路線のトイレの整備につきましては、引き続き設置場所の検討等を重ねてまいります。管理体制については、指定管理者、民間事業者及び個人へ委託して、適切な管理に努めています。



坂本 充弘議員

◆児童虐待について

(坂本) 虐待の有無と通報があつた場合の対応は。

(市長) 平成19年に要保護児童対策協議会を立ち上げ、随時、代表者会議、実務者会議及び個別ケース検討会等を開催、情報や支援、関わり方を共有している。児童虐待は、年々、増加傾向にあり、対応に苦慮している。通報先は児相、市、家族、親族、学校の順で、国の指針では48時間以内に児童の安全確認や場合により身柄の確保を行うとなつていますが、長崎県は24時間以内に行うとしており迅速な対応を指導されている。緊急時は児相や警察へ通報し、一時保護や時間的余裕がある場合は、個別ケース検討会等を開催、関係機関と情報を共有した上で協議、それぞれの立場で支援を行つている。

◆対馬縦貫道の早期二車線化整備について

(坂本) 国道382号の整備の現況と見通しは。

(市長) 現在整備中の檉滝・弓張間は平成24年度から計画延長2,600メートルで着手し、約300メートルが完成。美止々・佐護間は総事業費約20億円、計画延長1,300メートルの新規事業として採択。小船越・畠浦口間は平成28年度から着手し、測量や調査設計を行つている。全線二車線化の早期完成を目指し県に要望してまいります。

◆道路沿いの投棄ゴミ対策について

(坂本) 投棄ゴミの予防対策と撤去の方法は。

(市長) 警察・海保・保健所・市による監視合同パトロールの実施、CATVでの啓発、地区の協力を得て看板を設置し、予防対策を講じている。また、不法投棄防止のためパトロール員2名を雇用し島内を巡回、現状調査と看板設置、ゴミの回収作業にも努め、対策強化を図っている。



大浦 孝司議員

◆目保呂ダム馬事公園の調教師の公募について

(大浦) 調教師の公募は前任者が平成22年から着任され、今年3月で退職するとのこと

で了解している。調教師の身分の取扱いは市の嘱託職員とされているが、全国レベルの調教師の年間所得と大きく開きがあると5年前の一般質問で指摘したが、市長の認識はどのように考えているのか。

(市長) 勤務条件は、対馬市嘱託職員管理要綱に基づき調教師の報酬基準により支給しています。(大浦) 認識に大きな開きがあるようだ。あそうベイパークも乗馬が見込まれる予算措置をしている中、見直しを求めます。

◆対馬市ケーブルテレビの管理運営について

(大浦) 10年経過する対馬市CATV施設の機械等の備品について、平成28年度から10年間で26億円の予算で順次、更新する旨、説明を受けているが、その経過についてお尋ねします。

(市長) 過去2カ年の更新に係る事業実績については、平成28年度はIP告知放送システム改修委託等で約6千8百万円、平成29年度はCATV二次集約スイッチ改修等で約1億8千5百万円となつています。

(大浦) 施設機械の設備更新の取扱いは、協定書により行つているのか。

(市長) CATV施設の設備更新の契約は、「管理運営に関する協定書」により定めるものではなく、あくまでも施設設置者である市の責任において、更新に係る施設改修を行つています。

(大浦) この件については、納得がいかないの

で、次回定例会で継続再質問を行います。



長郷 泰二議員

◆インターネット環境について

(長郷) 本市の発展のためにインターネットの環境を改善することは必要不可欠であり、

早急に上位回線への整備に取り組みむべきと考えますがいかがでしょうか。

(市長) 市としても安定した通信サービスができるよう電気通信事業者、指定管理者と協議をしているところではあります。また、本土並みの通信速度の確保についても国に要望をしているところでもあります。今日の技術の進歩には目覚ましいものがあり、近々、対馬本土間の海底ケーブルの通信帯域が10Gbpsまで拡大の見通しが立ったと通信事業者からのお話も伺っています。今後も、この問題については国に対して補助事業等の創設に向け要望活動を行ってまいります。

◆地域防災対策について伺います。

(長郷) 近年外国人における空き家の買収が進んでいます。このまま推移していきますと地域自治におけるコミュニティに不安を覚えます。昨年担当部署を創設され対応されていますがその進捗状況と今後の対応はどのようになっていますか。

(市長) 空き家に関する情報のデータベースを整理するとともに、空き家の状態や所有者の特定など、地域との連携が不可欠です。また、専門的な知見を有する民間の関係者等とも協力し、相談体制及び施策の推進体制を構築していきます。

(長郷) 民家の裏山の崩壊に対する対策について伺います。

(市長) 急傾斜崩壊対策事業や治山事業により対応していますが箇所数が多く要望どおり対応できていません。緊急性の高いものを優先的に対応していきます。



波田 政和議員

◆美津島町難知(商業地区)の公共交通対策について

(波田) この商業地区は長崎県や対馬市が公表している各調査報告の中でも集客力の高さから利用頻度が高いと報告されている。バス待合所設置基準に該当すると思われるが、待合所の設置をお願いできないか。

(市長) 新たなバス停の設置は、他の車の通行に支障なく、バスを停車させ、乗客が安全に乗降できることが絶対条件となっていることから現状のまま設置すれば交通に重大な影響を与えることが想定されます。今後は、南警察署、対馬振興局、対馬交通等関係機関と協議しながら市民の皆様が利用しやすい公共交通となるように努めていきたい。

◆厳原地区における観光整備と道路整備事業について

(波田) 厳原港を中心とした観光整備の提案について、①万松院付近から清水山の三ノ丸、二ノ丸、本丸へ繋がり城下町を一望できる風光明媚な散策道の整備ができないか。②現在、利用頻度が少なくなった南部地区の農道や林道、また、現在道路整備が行われている尾浦から浅藻区間においてもサイクリングに適合した道路整備を提案したい。

(市長) ①②厳原市街地周辺を「歴史と文化観光ゾーン」とし、更に豆殿地区周辺を「歴史と眺望観光エリア」として設定し、有明山から龍良山を結ぶトレッキングルート、比田勝から豆殿までのサイクリングコース、内山地区を中心としたヒルクライムコースなどを検討しているところであり、道路の利用状況や環境を考慮し、歴史・文化・自然景観などの魅力を活かしていきたい。



船越 洋一議員

◆宗家墓所の整備について

(船越) ①本堂裏に宗家老の他に婦人の墓があるが未整備で荒れ放題となっているが整備計画はあるのか。②万松院広場入口の橋は、現状では橋の下から鉄骨で補強してあるが老朽化しており車の通行にも危険である。橋の架け替えはできないか。

(教育長) ①金石城跡や清水山城跡といった隣接する史跡等と合わせ、対馬藩関連遺産群として、保存活用計画、整備基本計画を策定したのち、第二期の整備計画に盛り込んで整備していく予定。

(市長) ②橋は宗教法人万松院の財産であると思われるが、対馬を代表する史跡の入口部分になるので、史跡の周辺整備という観点から事業の組み立てができないか教育委員会と相談していきたい。

◆厳原市街地の整備について

(船越) ①西川端通りの柳の木の手入れについて②東川端通りの花壇の草刈りについて③厳原本の川の川底の清掃について、整備状況等について伺います。

(市長) ①市が管理しているところであり、補植等を含め厳原本川の川面に映る柳の枝の風景を皆さんに楽しんでいただけるよう管理していきたい。②管理者は対馬振興局ですが、対馬振興局と対馬市で作る観光振興プロジェクトチームにより、フラワールードの整備として、フラワールポット等の設置を検討している。③街の中心部を流れる大切な川であり、観光客の皆様を迎え入れ、城下町の風情を楽しんでいただくため、管理業者で迎える環境づくりに努めていくため、管理者である対馬振興局と協議をしていきたい。

所管事務調査報告

常任委員会では、条例案その他議案の立案のためや問題点のある事務の改善を究明するため自主的にテーマを設定し、調査を行うことができます。調査結果については、報告書を議長に提出し、本会議において報告します。今定例会においては次のとおり調査報告がされました。

総務文教常任委員会

委員長 春田 新一

本委員会は、平成31年1月30日、次の二項目について調査研究を行いました。

- 一、対馬市CATV施設の現状と事業計画について
 - ① 対馬市CATV施設は平成17年度から平成21年度にかけて農林水産省、総務省の各交付金及び合併特例債等を活用して総事業費75億円をかけて整備を行い、平成22年4月から統合開局しております。機器等の経年劣化により、現況は、画質低下等により市民の皆様に変惑をおかけしている状況であります。故障した機器は自主放送を時間予約し送信するために使用しており、複数の機能をコントロールする重要な機器であり、現在、自主放送送出機器の調査・設計委託を行っており、早急な復旧に向けて準備を進めているところです。
 - ② 今後の課題として、本市の通信基盤としては公設民営で運営をしておりますが、施設の更新に必要な経費は将来にわたって施設設置者である本市が負担するものです。現行サービスを提供している場合の更新費用はおよそ80億円と試算されており、本市の財政状況においては非常に厳しいものと考えます。

本市CATV事業が、永続的に運営を維持できる施設の整備運営方法及び提供サービスの在り方について、専門家の助言をいただきながら検討を進めているとのことでした。

委員から、市民の声を生かした魅力ある番組作りやサービス向上に向けて努力をされ、皆様に喜ばれるCATV施設であってほしいとの意見がありました。

二、対馬市立鶏鳴幼稚園の現状について

- ① 近年の国の施策や働き方改革、子育て支援、保育料の負担軽減などにより、子どもを保育所に預けやすくなり、母親が積極的に就労できるとようになっていきます。全体的に保育所の利用者が増加した反面、幼稚園では園児数が減少しており、鶏鳴幼稚園も同様の状況です。

② 委員からは、年々、園児数が少なくなってきた

園児数が少なくなってきたおり課題もあるが、ある程度の入園者数は見込まれており、今後も、地域や市の支援の下、子ども達の学習として安全性の保持に力を入れていく必要があるとの意見がありました。



対馬市情報センター

厚生常任委員会

委員長 齋藤 久光

本委員会は、平成31年2月6日、次の5施設についての現状と課題について、現地調査を行いました。

【デイサービスセンター合歓の木園】

上対馬町芦見にあるデイサービスセンター「合歓の木園」は、平成9年に開設した通所介護型の施設であり、施設定員15人の小規模施設ですが、

1日の平均利用者数は14人から15人であり、7人の職員で対応している。

【デイサービスセンターなるたき園】

上対馬町玖須にあるデイサービスセンター「なるたき園」は、平成8年に開設した通所介護型の施設であり、施設定員25人に対して、1日の平均利用者数は21人であり、8人の職員で対応している。

【デイサービスセンター御嶽の里】

上県町檜滝にあるデイサービスセンター「御嶽の里」は、平成8年に開設した通所介護型の施設であり、施設定員25人に対して、1日の平均利用者数は15人であり、14人の職員で対応している。

【高齢者生活福祉センターピアハウス】

美津島町難知にある高齢者生活福祉センター「ピアハウス」は、概ね60歳以上のひとり暮らし又は夫婦のみの世帯で、高齢等のために独立して生活すること不安がある者及び家族等による支援を受けることが困難な高齢者を対象として、生活の場を提供し、相談、指導等の援助を行うことを目的として設置しており、現在の入居者数10人に対して、非常勤を含め5人の職員が配置されている。

以上の4施設の共通問題として、介護職員等の確保、施設の老朽化等の問題を抱えているとの説明を受けました。

【こどもデイサービスセンター】

美津島町難知にあるこどもデイサービスセンターは、児童福祉法に基づき、身体障害、知的障害、精神障害、発達障害などの児童を対象とする通所施設であり、就学前の児童を対象とした児童発達支援事業と就学後の児童を対象とした放課後等デイサービス事業を実施し、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応の訓練を行うことにより、自立助長と福祉の増進を図ることを目的に設置されている。

現在の利用者は20人であるとの説明がありました。

した。

現地調査終了後、対馬市役所美津島行政サービスセンターの別館小会議室において、委員会を開催し、今回調査したデイサービスセンター、高齢者生活福祉センター及びこどもデイサービスセンターについては、指定管理者による管理施設であるが、福祉施設の維持管理等については、予算要求も含めて、よく協議して常に対応できるような状況にしておく必要がある旨の意見がありました。



ピアハウス

産業建設常任委員会

委員長 大部 初幸

本委員会は、平成31年2月7日、観光商工に関する調査・研究を目的に所管事務調査を実施いたしました。

まず、午前10時から、対馬市温泉施設「真珠の湯」及び対馬市公園等施設「あそうベイパーク」の現地視察を行いました。

対馬市温泉施設「真珠の湯」は、平成8年4月からオープンしており、現在は株式会社対馬ランドホテルを指定管理者とし、管理運営をしております。韓国入観光客の影響もあり、近年の利用者数は2万人前後と多くなっている。しかしながら、同施設はオープンから23年近く経過しており、施設・設備もかなり老朽化している状況であります。

委員会の意見としては、ポンプやボイラーの設備が故障した場合、多額の費用を要することになるが、地元利用者も多く、韓国入観光客の利用も増えてきており、今後の状況を見ながら改修や建替えも含め、市で検討していただきたいとの意見で一致しました。

対馬市公園等施設「あそうベイパーク」は、平成6年6月から供用を開始しており、現在は合同会社グリーンアイランドを指定管理者とし、管理運営をしております。利用状況は、韓国入観光客のキャンプ場利用もあり、年々増加している状況であります。同施設もかなり老朽化しており、早急な改修が必要な状況であります。

委員会の意見としては、県や関係団体との協議を密にされ、同施設を有効活用するためにも、早急な施設整備と市民や観光客へのPR手段を検討いただきたいとの意見で一致しました。

次に、午後1時30分から、対馬市商工会を訪問しました。当日は齋藤会長を始め本所・支所の職員の方々にご出席いただき、対馬市商工会の組織や事業概要、また、地域事業者の現状や課題等についての説明を受け、その後に質疑と意見交換を行いました。

対馬市商工会の組織は、現在は、1本所（厳原町）、3支所（美津島、中部（豊玉・峰）、北部（上県・上対馬））の体制であり、平成31年1月末の会員数は1,028人、組織率は57パーセントで、年々少しずつ減少しているとのことでありました。

意見交換の場では、地域事業者の声として、人材確保のため求人を出してもなかなか応募がない、インターネットの速度が遅く通信関係のインフラが弱い等の意見がありました。

委員会の意見としては、地域事業者が島内外や国内外の需要開拓を図る上で、必要不可欠な通信関係のインフラ整備や持続可能な経営を目指す上で

の人材確保の支援は重要であり、市において、国や県、関係団体と連携を図り、効果的な施策を検討する必要があるとの意見で一致しました。



あそうベイパーク（管理棟）

編集後記

3月は、高校・小・中学校の卒業式、幼稚園・こども園の卒園式、第1回市議会定例会と慌ただしく過ぎていきました。小学校の卒業式に出席させていただくと、入学時に比べ子ども達の成長を改めて実感し、将来の夢に向かって主張する姿に感動しました。

球界では、「平成」の終わりと共に、あの孤高の打者イチロー選手がついに現役を引退しました。日米通算4367安打を放ち、多くのメジャー記録を更新しました。また、WBCでは、06、09に日本代表として2連覇に貢献し、感動を与えてくれました。日・米の野球殿堂入りも確実なようです。これまでの活躍に敬意を表したいと思います。

今年は時代の大きな転換期を迎えます。4月1日に新元号「令和」が発表されました。出展は万葉集で、(初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす)から引用されました。人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められているそうです。30日には天皇陛下が退位され、「平成」の時代が終わります。5月1日に元号が「令和」に改元され、皇太子さまが新天皇に即位されます。元号の意味のとおりに素晴らしい時代となるよう願うばかりです。

「議会だより」の発行も4回目。今後も市民皆様からご愛読いただけるように努力してまいります。

(文責：坂本充弘)



広報編集特別委員会

委員長 小島徳重
副委員長 小田昭人
委員 坂本充弘・吉見優子